〇内閣府令第七十一号

活 動 火 Щ 対 策 特 別 措 置 法 .. つ 部 を改 正する法律 (平成二十七年法律第五十二号) の施行に伴い、 並 び に 活

動火 Щ 対策特別措置法 (昭和四十八年法律第六十一号) の規定に基づき、 及び同法を実施するため、 活動火

山対策特別措置法施行規則を次のように定める。

平成二十七年十二月九日

内閣総理大臣 安倍 晋三

活動火山対策特別措置法施行規則

(火山災害警戒地域の指定の公示)

第 条 活 動 火 Ш 対策特別措置法 (以 下 「法」という。)第三条第三項 (同条第五項において準用する場合

を含む。 の規定による火山災害警戒地域の指定 (同条第五項において準用する場合にあっては、 指定 0

変更又は解除。 以下この条において同じ。) の公示は、 当該指定をする旨及び当該火山 I災害警: 戒 地 域 を明

示して、 官報に 掲載 して行うものとする。 こ の 場合 に お V) て、 当該火· Щ 災害警戒 地 域 \mathcal{O} 明 示 12 ついては、

都 道府日 県及び・ 市 町村 (特別区を含む。 第五 条及び第八条にお いて同じ。 によることとする。

(火山災害警戒地域の指定の公示に係る図書の送付)

第二 条 法 第三 一条第 四 項 (同 条 第 五. 項 E お 1 7 準 用する場合を含む。 の規定による送付は、 火山 災害警戒

地域の位置を表示した図面により行うものとする。

火 山現象の発生及び推 移に関する情報 の伝達方法等を住民等に周 知させるための必要な措置

第三条 法第七句 条 (法第 十条第二項にお いて準用する場合を含む。) の住民等に周知させるため 0 必要な措

置は、次に掲げるものとする。

火 Щ が 爆 発 した場 合にお 1 て 住 民等 \bigcirc 生 命 又は身体に被害が 生ずる お それ が あ ると認 8 5 れ る土 地 \mathcal{O}

区 域 及 び 当 該 被害 \mathcal{O} 発 生原 因となる火 Щ 現 象 \mathcal{O} 種 類を表示 した図 面 に 法 第七条 に 規定する る事 項 を 記 載 L

たも \mathcal{O} (電子的方式、 磁気的方式その他 人の 知覚によって は 認識することができない 方式で作 られ る 記

録を含む。) を、 印刷 物 \mathcal{O} 配 品布その 他 \mathcal{O} 適 切 な方法により、 各 世帯に提供すること。

前 号 \mathcal{O} 図 面 に表 示 L た事 項 及び 記 載 Ű た事 項に係る ふ情報な を、 インター ネットの利用 その他 の適切な方

法に ょ り、 住 民 等が そ \mathcal{O} 提供を受けることができる状態に置くこと。

、避難確保計画の記載事項)

第四 条 法第八条第一 項 (法第十条第二 項 E お V . て 準 用する場合を含む。 \mathcal{O} 避難 確 保計 画に は、 次に掲 げげ

る事項を記載するものとする。

火 Ш 現象 0 発生時 12 における 避難促進施設の防災体制に 関する

火 Щ 現象 \mathcal{O} 発 生 時 に における 避難促進施 設を利用 L てい · る者 0 避 難 の誘導に関する事 項

事

項

三 火 Щ 現象 \mathcal{O} 発生時 を想定 L た避 難 促進 施 設に お け る避 難 訓 練 及び防災教育の 実 施 に 関 はする事 項

速 な 避 難 \mathcal{O} 確 保 を 図 る ため に 必 要 な 措 置 に 関 する 事 項 兀

前三号に

· 掲

げげ

るも

 \mathcal{O}

 \mathcal{O}

ほ

か、

火

Ш

現

象

 \mathcal{O}

発生

時

12

お

け

る避

難

促進

施設

を利

用

L

て

V)

る者

0

円

滑

カン

つ 迅

避難施設緊急整備地域の指定の公示)

第五 条 法第十三条第三項にお 7 て準 用する法第三条第三項の規定による避難施設緊急整備地 域 の指定 の公

示 は、 当該指定をする旨及び当該 避 難 施 設緊急整備 地 「域を明」 示して、 官 報 に 掲載して行うものとする。

 \mathcal{O} 場合に、 お (1 て、 当 該 避 難施 設緊急整備 地 域 $\widehat{\mathcal{O}}$ 明示 に っい ては、 市町村、 大字、 字及び小字によることと

する。

、避難施設緊急整備計画の記載事項)

第六条 法第十 四条第 項 に規定する避 難 施 設緊急整 備 計 画 に は 法第十五 条各号に 撂 げげ 6 れ た事 項ごとに

一次に掲げる事項を記載するものとする。

一 整備しようとする施設の種類、規模及び位置

二整備しようとする施設の整備に要する費用の概算額

三 整備しようとする施設の完成目標年度

(避難施設緊急整備計画の協議の申出等)

第七 条 法第十 兀 条 第 項 \mathcal{O} 規 定 に ょ る 避 難 施 設緊 急 整 備 計 画 \mathcal{O} 協 議 \mathcal{O} 申 出 は 避 難 施 設 緊急整 備 計 画 協 議

申 出 書 (別 記 様 式 \mathcal{O} 正 本 部 及び 関係 行 政 機関 \mathcal{O} 数に一 を 加 えた部 数 0 写 しを 提 出 して行うものとする。

2 前 項 \mathcal{O} 協 議 申 出書に は、 次に掲げる事項を記載した資料を添付するも のとする。

避 難 施 設 **S**緊急整 備 地 域 (法第十三条第 項 の規定により指定された地域をいう。 次号にお 7 て同じ。

)内の住家の分布状況及び土地利用の状況

避難 施 設 緊急整 備 地 域 内 \mathcal{O} 避 難 12 供 せ 5 いれる施る 設 **計** 画 中 \mathcal{O} ものを含む。 \mathcal{O} 配 置状況及び 施設 の状

況

三 避難施設整備後の住民等の避難対策

3 前二 項 \mathcal{O} 規定 は、 法 第 十四四 条 第四 項に おい て準用する同条第一 項の規定による避難施設緊急整備計 画 \mathcal{O}

変更の協議の申出について準用する。

(降灰防除地域の指定の公示)

第八条 法第二十三条第三項にお いて準用する法第三条第三項の規定による降灰防除地域の指定の公示は、

当該 指定をする旨及び当該降 灰防除 地域を明示して、 官報に掲載して行うものとする。 この場合にお いて

当該降 灰防 除 地 域 0 明示に つい 7 は、 市町村によることとする。

附則

ک \mathcal{O} 命令は、 活動火山対策特別措置法の一部を改正する法律の施行の日 (平成二十七年十二月十日) から

施行する。

番号

平成 年 月 日

内閣総理大臣

殿

都道府県知事

避難施設緊急整備計画協議申出書

活動火山対策特別措置法(昭和48年法律第61号)第13条第1項の規定により昭和 9 平成 年 月 日に避難施設緊急整備地域に指定された地域について、避難施設緊急整備計画を別紙のとおり作成したので、同法第14条第1項の規定に基づき、避難施設緊急整備計画に同意されるよう協議の申出をします。

別紙

避難施設緊急整備計画

火 山 名都道府県名

施設の種類	施設の規模	施設の位置	費用の概算額 (千円)	完成目標年度
	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	······································	······································